

漢字ネットワーク構造の視覚化

独立行政法人産業技術総合研究所 特別研究員 江渡 浩一郎 k-eto@aist.go.jp

漢字は部品にわかれる。

そのわかれた部品はまた別の漢字につながる。

そのように漢字同士は部品を介して接続され、それはネットワーク構造となっていると考えられる。

ならばそのネットワーク構造はどのような特徴を持っているだろうか。

宮下久夫

小学校の漢字教育の改革にとりこんでいた。

101の基本漢字と、128のあわせ漢字とを決めた。

ここではこの最小セットとしての128のあわせ漢字をターゲットとすることとした。

Graphvizによるサンプル

neatoはバネによる接続モデル、twopiは円形に配置するモデル。

128字のあわせ漢字の接続関係を視覚化した。

小学校1～6年生で習う漢字を順に視覚化した。

接続関係が増えてくると、視覚化が非常に難しくなる。

動的な表現によるネットワーク構造の視覚化

Springモデルにより、リアルタイムに画面上で動かす。

インタラクティブに配置を移動できるため、表示をコントロールできる。